

# 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大を受けた奄美群島の取組について

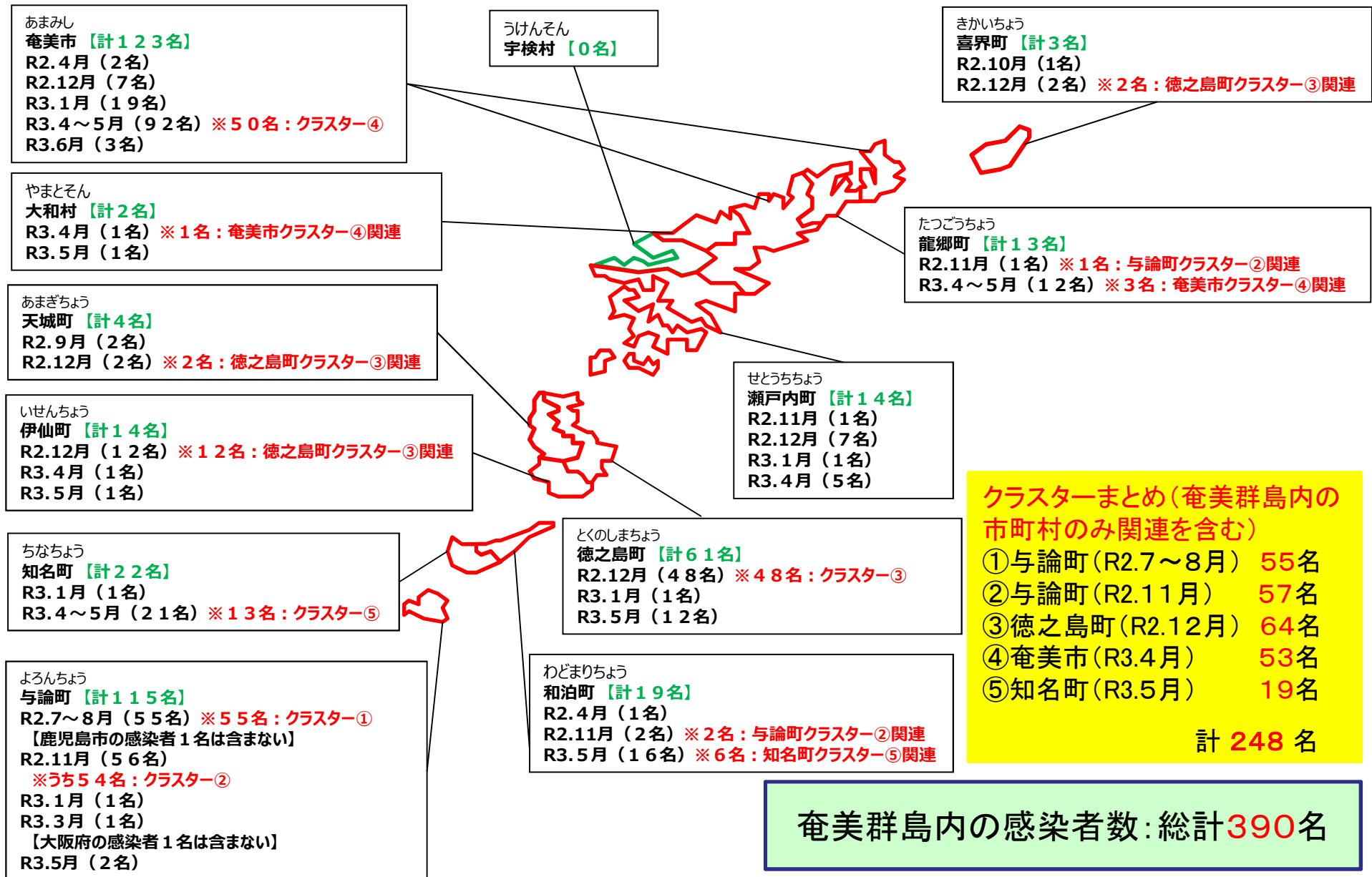
---

## 奄美群島への影響

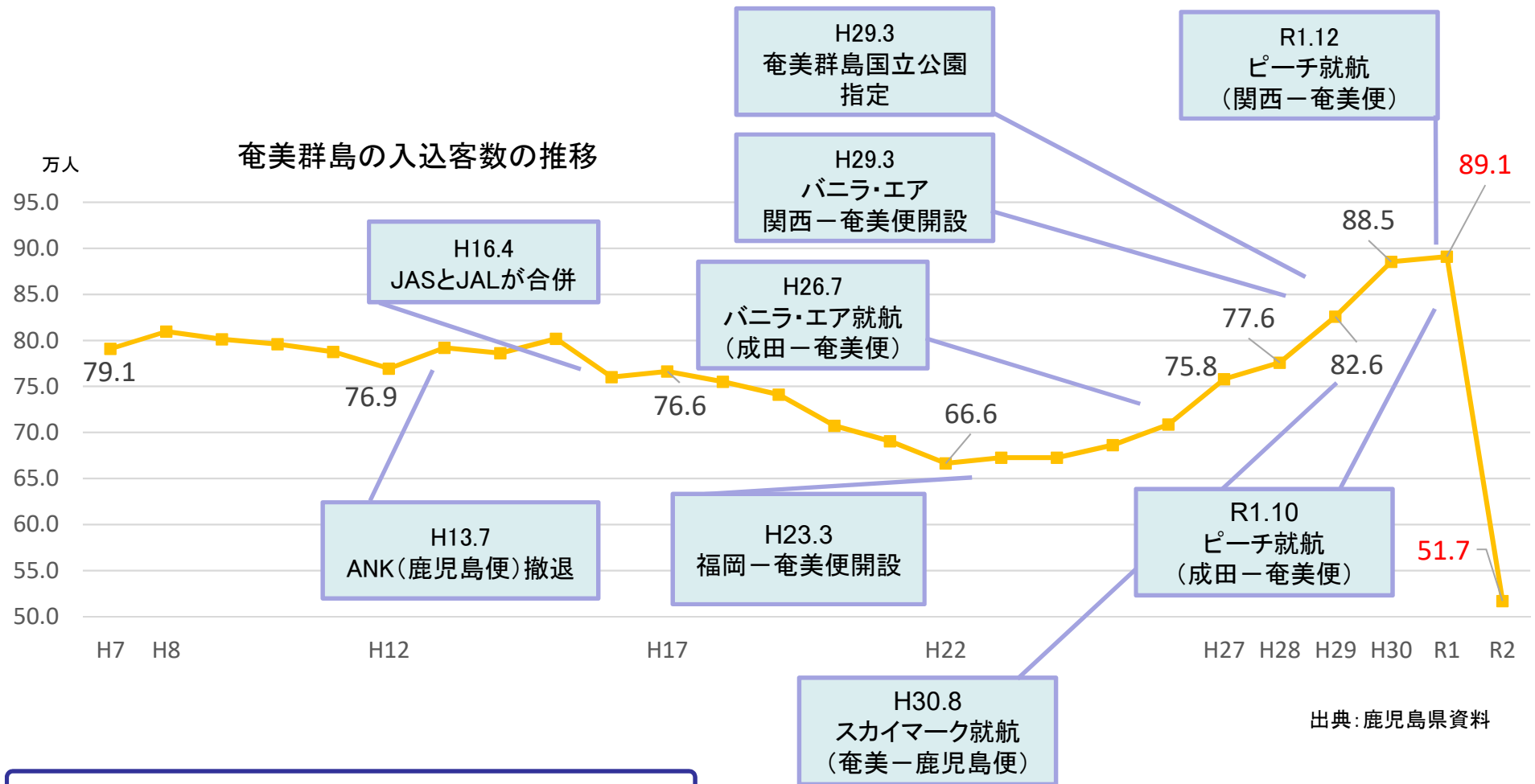
- 令和3年4月に奄美大島で初めてとなるクラスター(集団感染)の発生、警戒レベルが「5」に引き上げられた。※5月31日付レベル「4」に引き下げ  
また、鹿児島県は相次いでクラスターが発生したことを受けて、奄美市、和泊町、知名町等の一部の飲食店に対して、5月10日から23日までの2週間、営業時間短縮要請が行われた。
- 「奄美まつり」や「トライアスロンin徳之島大会」の中止が決定する等、昨年に引き続き、群島内のイベントの中止が相次いでいる。
- クルーズ船の令和2年度に予定していた19隻の寄港は、すべて中止となった。
- 新型コロナウイルスの影響や緊急事態宣言の発出に伴い、日本航空、スカイマーク、ピーチ・アビエーションが運休や減便を実施。
- 緊急事態宣言や移動の自粛要請等の影響により、令和2年度の奄美群島への入込客数は前年比42.0%(37万4千人減)の51万7千人と大きく落ち込んだ。(3頁に  
関係資料)

# 新型コロナウイルス・奄美群島内での感染状況

※ 令和3年6月2日時点



# 入込客数の推移



【参考】令和2年度 観光動向調査(延べ宿泊客数)

(単位：人、%)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
奄美地区 (13施設)	R2年度	6,682	4,201	11,536	20,455	21,866	22,436	28,350	30,792	23,571	11,563	15,318	24,315
	R1年度	27,464	27,549	49,518	33,869	34,479	25,456	26,105	27,607	24,046	24,346	28,763	24,410
	前年比	▲75.7%	▲84.8%	▲76.7%	▲39.6%	▲36.6%	▲11.9%	+8.6%	+11.5%	▲2.0%	▲52.5%	▲46.7%	▲0.4%

※サンプル調査(対象施設の当年度と前年度の宿泊数を調査)

出典：鹿児島県資料 3

## 医療体制や対応

### ●新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

高齢者を対象としたワクチン接種は、5月より本格的に接種が始まり、奄美群島12市町村のすべてが7月末を目処に接種を終えられるよう取り組んでいる。なお、一部市町村では、高齢者以下の世代に対しての接種が始まっている。

### ●感染者が確認された場合について

鹿児島県や保健所と連携を取りながら、入院調整を行う等の対策を行っている。また、各市町村においては、新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、公共施設の一部使用制限等について感染状況に応じて適宜判断している。

### ●検査体制の拡充について

令和2年9月に感染症指定医療機関である県立大島病院(奄美市)にPCR検査機1台が導入された。

## その他の取組

●奄美群島12市町村がそれぞれのHPにて新型コロナウイルスに関する情報を公開。奄美大島新型コロナウイルス感染症対策本部が「島旅のしおり」を作成し、来島前からの体調管理の注意喚起を行っている。

●各市町村にて住民へマスク、手指消毒液を配布するなど感染対策の支援を実施。

●空港や港において、サーモグラフィーによる検温の実施、体温の高い方を対象として追跡調査を市町村と連携して取り組んでいる。

## 議論の論点

○ 新たな生活様式への変容を踏まえつつ、ワクチン接種完了後や世界自然遺産登録を見据え、どのように奄美群島の振興を図るか。

〈 着目ポイント 〉

1. ワクチン接種完了後の観光受入体制  
水際対策、インバウンド対応 等
2. 世界自然遺産地域における新しい観光様式  
グリーンスローモビリティ、オンラインツーリズムの可能性 等
3. DXの推進  
ワーケーション、VR、観光PR動画（与論町4K動画） 等